# 補助金・交付金 チェックシート(No.1)

| 補 助 金 名 (交付金名)                         | 函館港湾振興会補助金 | 開<br>年<br>度 | 昭和41年度 |  |  |
|--|------------|-------------|--------|--|--|
| 団 体 名                                  | 函館港湾振興会    |             |        |  |  |
| 助成の根拠規定等<br>(条例・規則・要綱等)<br>図館市補助金等交付規則 |            |             |        |  |  |

### ○補助事業の内容および目的・効果

| 内 容 | 函館港の振興発展のための各種調査、情報交換、要望活動、クルーズ客船歓迎行事への参加など。   |
|-----|--|
| 目 的 | (目 的)<br>函館港の紹介・宣伝、諸調査研究、海事関連行事への参加を遂行し、港湾関係者の情報<br>交換および連絡協調を図りながら、港利用の改善と振興・発展を企画する。 |
| ・効果 | (効果)<br>高い政策効果が期待できるとともに、情報の入手、連絡協調が図られ、市行政の推進」<br>非常に有効である。                           |

### ○補助事業の収支状況

(単位:千円)

|   | 年 度 |     | 式 金<br>その他 | 事業収入 | 会 費          | 繰越金 | 雑収入 | 計      |
|---|-----|-----|------------|------|--------------|-----|-----|--------|
| 収 | 23  | 140 |            | 145  | 915          | 50  | 52  | 1, 302 |
|   | 24  | 140 |            | 119  | 915          | 106 | 0   | 1, 280 |
|   | 25  | 140 |            | 106  | 905          | 134 | 4   | 1, 289 |
| 入 | 26  | 140 |            | 111  | 900          | 12  | 1   | 1, 164 |
|   | 27  | 140 |            | 100  | 850          | 8   | 1   | 1, 099 |
|   | 年 度 | 人件費 | 事務費        | 事業費  | 上部団体<br>負担金等 | 予備費 |     | 計      |
| 支 | 23  |     | 338        | 858  |              |     |     | 1, 196 |
|   | 24  |     | 282        | 864  |              |     |     | 1, 146 |
| 出 | 25  |     | 313        | 964  |              |     |     | 1, 277 |
|   | 26  |     | 241        | 915  |              |     |     | 1, 156 |
|   | 27  |     | 242        | 854  |              |     |     | 1, 096 |

## <u>補助金・交付金 チェックシート(No.2)</u>

| 補 助 金 名 (交付金名) | 函館港湾振興会補助金 |
|----------------|------------|

#### ○基本的視点の再チェック

|   | 基本的視点  | 適 | 不適 | 説明  |
|---|--|---|----|---|
| 1 | 公益性<br>(明確な公益性があるか)<br>①広く市民生活の向上に貢献<br>する事業 | 7 |    | 函館港の利用促進,振興発展を目的としており,物流・人流の活性化やクルーズ客船による観光客の誘致などに伴う経済効果を通じ,広く市民生活に貢献しているほか,港湾整備に関する要望活動等により,施設整備の促進につな |
|   | ②市民ニーズが高い事業                                  | > |    | げ、経済活動の活性化を図り、市民生活の向上<br>を促している。また、公益性が高いことから、<br>市が事務局となっている。  |
| 2 | 必要性 (補助しなければならない事<br>業であるか)                  | > |    | 函館港の関連事業者を統合する唯一の団体であり,港湾管理者である市としても積極的に関わっていく必要がある。  |
| 3 | 自主性(自主自立に向け努力してい<br>るか)                      | > |    | 事業の見直しを図るとともに,経費の節減に<br>努めている。  |
| 4 | 有効性(他の手法ではなく補助する<br>ことが、施策目的実現に最適か)          | > |    | 本事業は、港湾の振興に必要なものであり、<br>継続的な事業実施のため、補助金による財政的<br>な支援が最適であると考える。   |

<sup>※</sup>適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

### ○財政的視点のチェック

| 財 政 的 視 点 |   | 不適       | 不適の場合の理由と今後の対応について   |
|-----------|---|----------|--|
| 1         | 積算内訳は, 前年踏襲となっていないか                       | >        | 既に事業費の節減を行っているが,他の収入<br>(会費等)に変動がないことから,必要最低限<br>となっている。           |
| 2         | 補助金等の使途は適切である                             |          |  |
| 3         | 積算基準は定められている                              | 7        | 積算基準は定められていないが,事業執行<br>上,必要最低限の額を補助している。                           |
| 4         | 補助割合は,補助対象経費の1/2以内で<br>ある                 |          |  |
| 5         | 前年度繰越金は生じていないか                            | <b>√</b> | 事務費の節減などにより,若干の繰越金は発生<br>しているが,決算報告までの会の運営経費とし<br>て,適正な範囲内と認識している。 |
| 6         | 自主財源の確保に努めている<br>(最低でも前年度の収入を確保している<br>か) | >        | 収入は, 主に会費と市からの補助金であるが,<br>会員の減少に伴い減収となっている。                        |
| 7         | 経常経費の節減に努めているか                            |          |  |

<sup>※</sup>不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金名 函館港湾振興会補助金 (交付金名) ○補助効果の検証 (効果測定方法, 具体的な数値等) 総会の開催 ・港湾要覧の作成、配布等による広報活動 ・クルーズ客船歓迎行事への参加 ・要望活動,関係会議への参加 (達成状況) 総会の開催 ・港湾要覧の作成(300部) ・クルーズ客船歓迎行事への参加 ・関連団体との合同トップセールスの実施 ※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。 (評 価) (理 由) 十分効果をあげている  $\overline{}$ 一定の効果をあげている 効果が疑問である その他 ○今後の方向性 (見直しの内容) 現行のまま補助を継続 既に事業の節減を行っているが, 積算内訳や積算基  $\overline{}$ 見直したうえで補助を継続 準については, 再度, 経費が適正であるかなどの観点 から精査し,適正な補助額を算出する。 廃止 (見直しの時期) その他 (廃止の理由) (その他の内容) (廃止の時期) ○終期の設定 次回チェック年度(予定) 終期設定 終期到来により廃止 平成30年度 終期到来時に再検討 平成30年度